

地方創生拠点整備交付金 事業実施報告（様式2）

○回答欄について

: 記述式 : プルダウン選択式 : 半角数字での記述式

都道府県名	大分県	市町村名	由布市
コード	44213		

担当部局課名	総合政策課	担当者氏名	高田・古長
メールアドレス	seisaku@city.yufu.lg.jp	電話番号	097-582-1111(1242)

注) 都道府県名及び市町村名をプルダウンで選択（都道府県の回答の場合、市町村名は不要）
注) コードは自動で表示（記載不要）

※ 事業実施報告は「事業ごとに」それぞれ1ファイル作成してください。

I. 拠点整備交付金事業の振り返り

A. 基礎情報

1. 本事業の事業名称、実績額、単独事業と共同申請事業の別、施設整備計画の申請時点のテーマなどをお聞かせください。

一昨々年度報告した事業実施報告等を参照いただき、H29年度の実績額を記載してください。

また、本事業を通して解決したいと考えている課題とその課題に対する取組について、最も適切だと思う分類をお選びください。【全員】

事業名称	【拠点整備交付金】 令和2年度 実績額 [単位:円]		(推進交付金を活用して実施する) 【効果推進事業(ソフト事業)】 実績額 [単位:円]	実績額 [単位:円]	単独事業と共同申請事業の別	施設整備計画(申請)段階のテーマ	事業実施年度	主たる施設の建設区分
	ア. 総事業費	イ. 交付金対象事業費						
旧大津留小学校を核とした小さな地域拠点施設整備事業	¥58,729,360	¥27,110,680		¥58,729,360	単独	【まちづくり】小さな拠点分野	H29年度	改築

本事業における課題の分類 「別紙 選択肢」シートの凡例より選択
①高齢化の進行

課題に対して実施する取組の分類 「別紙 選択肢」シートの凡例より選択	
大分類	詳細分類
c.地域の魅力を向上させる取組	④拠点の導入・整備 (魅力のある拠点を整備、交流スペース提供)

注) 設問ア及びイは、拠点整備交付金交付要綱 別紙様式Ⅱ 実績報告書で報告した金額（円単位）を記載。
注) 設問ウ及びエは、推進交付金交付要綱 別紙様式Ⅱ 実績報告書で報告した金額（円単位）を記載。
注) 設問ア及びウは、交付金以外も含む、事業を実施する上で支出した総支出額
注) 単独事業と共同申請事業の別は自動で表示（記載不要）

1-1. 本事業の実績額（設問1.のオ）の支出内訳について、貴団体が支払った相手先の業種別（①～⑩）にお聞かせください。【全員】

令和2年度の事業の支出の内訳 [単位:円] ※概数で結構です											総事業費(オ) [単位:円]
①農林水産	②建設	③製造	④情報通信	⑤運輸・郵便	⑥商業 (卸・小売)	⑦金融・保険	⑧不動産・物品賃貸	⑨サービス	⑩その他	①～⑩の合計	
	50,694,000				5,835,000			2,200,000		58,729,000	58,729,360

注) 支払い毎に、支払相手が属する業種①～⑩欄に当該支払額を加算してください。
注) ある支払い先が①～⑩のどの産業分類に該当するか判断することが難しい場合には、「別紙 | 設問1 (産業分類)」シートを参照し、代表的な産業分類に計上ください。
注) 支払い相手先業種別の内訳は、概数で結構です。（「①～⑩の合計」が、最右欄の「総事業費（オ）」に概ね一致しているかご確認ください。）

B. KPIの設定・成果

○交付金事業における重要業績評価指標（KPI）の設定、及び成果の確認 【共同（代表）及び単独事業のみ】

2. 本事業における重要業績評価指標（KPI）の名称、意味付け、当初値・目標値・実績値等について、お聞かせください。

※設問2は共同申請事業の非代表は記入不要です。

※設問ア～シ（設問イ・ウを除く）は、施設整備計画を確認してご記入ください。設問イ・ウにつきましては最も適切だと思う分類を選択ください。

		KPI 1	KPI 2	KPI 3	KPI 4
ア. 本事業における重要業績評価指標（KPI）の名称		庄内地域の旧大津留小学校区における社会増	カフェの開催数	特産品の商品化	
KPIの意味付け	イ. KPIの分類 (大分類)	a.人口増加関連指標	c.地域の魅力向上関連指標	c.地域の魅力向上関連指標	
	ウ. KPIの分類 (小分類)	③人口増加数・社会増数 (世帯数、Uターン者数、住民基本台帳人数、出生者数)	③利用者数 (施設・設備利用者数、イベントなどの参加者数、など)	⑥特産品・旅行商品開発数	
	エ. KPIの分類 (対象)	④総合的なアウトカム	④総合的なアウトカム	④総合的なアウトカム	
	※右記の凡例より選択ください。<凡例：選択肢> 注) 下記①～④で想定するKPIの具体イメージについては、「別紙 設問2 (KPIの意味付け・分類)」シートをご参照ください。				
KPIの当初値	オ. 施設整備計画の申請時点	当初値 [単位]	当初値 [単位]	当初値 [単位]	当初値 [単位]
	※施設整備計画上の「事業開始前（現時点）」をご記載ください。	1 人	0 回	0 個	
	計測年月	2017 年 1 月	2017 年 1 月	2017 年 1 月	
	カ. 令和元年度の事業終了時点	27 人	31 回	0 個	0
施設整備計画の申請時点での、KPIの目標値設定	キ. 平成29年度増加分	目標値 (増分) [単位]	目標値 (増分) [単位]	目標値 (増分) [単位]	目標値 (増分) [単位]
	ク. 平成30年度増加分	2 人	8 回	0 個	
	ケ. 令和元年度増加分	3 人	12 回	1 個	
	コ. 令和2年度増加分	4 人	12 回	1 個	
	※目標値がゼロの場合、効果が発現し始める時期をご記載ください。	5 人	12 回	1 個	
	効果発現開始時期 (見込)	2022 年 3 月	2022 年 3 月	2022 年 3 月	
サ. 上記キ～コ累計 (自動表示)	目標値 (増分) [単位]	目標値 (増分) [単位]	目標値 (増分) [単位]	目標値 (増分) [単位]	
シ. 備考欄	14 人	44 回	3 個		
目標値や目標年月を、半角数字で記入することが出来ない、その他上表に記載困難な場合には、以下備考欄をご活用ください。					

K P I の 実績値 ※見込みではなく実績をご記載ください。	(平成29年度事業のみ) ス. 平成29年度増加分の実績値	実績値 (増分)	[単位]	実績値 (増分)	[単位]	実績値 (増分)	[単位]	実績値 (増分)	[単位]
	→	10	人	10	回	0	個		
	(平成30年度以前の事業のみ) セ. 平成30年度増加分の実績値	→	9	人	12	回	0	個	
	(令和元年度以前の事業のみ) シ. 令和元年度増加分の実績値	→	7	人	9	回	0	個	
	タ. 令和2年度増加分の実績値	→	7	人	9	回	0	個	
		目標値に対する達成度合い		目標値に対する達成度合い		目標値に対する達成度合い		目標値に対する達成度合い	
		→	140 %	①目標値を達成	75 %	②目標値の7割以上達成	0 %	④目標値の達成は5割未満	#DIV/0! %
		※目標値に対する達成度合い (%) は、自動で表示されます。適切な表示となっていない場合のみ、プルダウンで選択してください。							
	チ. KPI増加分の累計 (実績)	実績値 (増分)	[単位]	実績値 (増分)	[単位]	実績値 (増分)	[単位]	実績値 (増分)	[単位]
	→	33	人	40	回	0	個		
		目標値に対する達成度合い		目標値に対する達成度合い		目標値に対する達成度合い		目標値に対する達成度合い	
	→	236 %	①目標値を達成	91 %	②目標値の7割以上達成	0 %	④目標値の達成は5割未満	#VALUE! %	
		※目標値に対する達成度合い (%) は、自動で表示されます。適切な表示となっていない場合のみ、プルダウンで選択してください。							
	ツ. 備考欄	実績値や年月を、半角数字で記入することが出来ない、その他上表に記載困難な場合には、以下備考欄をご活用ください。							
	→								
	テ. 実績値累計 (チ) の目標達成・未達理由 (達成または未達になった理由、及び未達の場合は今後の解決策 (案))	コロナ禍のため、協議会での活動が計画通りに開催されず、特産品の開発についても実施まで至らなかった。しか							

○ 供用開始時期の確認 [共同 (代表) 及び単独事業のみ]

3. 整備対象施設の供用開始時期 (まだ開始していない場合は開始見込時期) について、お聞かせください。

※設問3は共同(代表)及び単独事業のみご記載ください。共同(連携)事業は記入不要です。

整備対象施設の供用開始の状況	具体的供用開始時期 (見込み)
①開始済	2018年4月

「②まだ開始していない」場合は、その理由について、お聞かせください。

供用を開始していない理由	
「⑥その他」を選択した場合の理由	

<凡例：選択肢>

- ① 開始済 ② まだ開始していない

① 施設の一部が未完成	④ 施設を利用する事業者が未決定
② 内部での調整が未完了	⑤ 基金事業であり、2年目の事業が終了していない
③ 指定管理者等との調整が未完了	⑥ その他

○ 交付金事業の効果 (地方創生への効果) [全員]

4. 本事業の効果について、お聞かせください。なお、共同申請事業の代表及び単独事業は、設問2のチ「目標値に対する達成度合い」の回答結果等を踏まえて総合的にご判断の上で、お選びください。また、具体的にどのような点で事業の効果を感じたかについて内容をご記載ください。その際、関連する業務やより上位の業務のKPIや統計指標に改善が認められるなど、効果が定量的に把握・示唆された場合、その内容もご記載ください。

事業効果	事業効果の内容・詳細
②地方創生に相当程度効果があった	

<凡例：選択肢>

① 地方創生に非常に効果的であった	例：全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
② 地方創生に相当程度効果があった	例：一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③ 地方創生に効果があった	例：KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
④ 地方創生に対して効果がなかった	例：KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言えないような場合
⑤ 効果の有無はまだわからない	例：整備対象施設の供用開始前等の理由により、効果発現時期がまだ到来していないような場合

C. 自立性担保の進捗

注) これらの設問でいう「令和2年度事業」とは、施設整備そのものではなく、施設整備計画に記載された施設の活用方法等のことを指します。

○ 自立性の進捗状況 [全員]

5. 本事業の自立化に向けた見込みについて、お聞かせください。

自立化の見込み
①あり

<凡例：選択肢>

- ① あり ② なし

5-1. 設問5で「あり (①)」と回答いただいた方のみ、お聞かせください。

本事業終了の翌年度における、事業運営コスト (投資に係る支出は除く) に占める事業収入の割合・一般財源の割合をそれぞれ概算でお聞かせください。

事業収入の割合	一般財源の割合
3割	7割

注) 事業収入とは、事業の実施に伴って得られる収入 (商品・サービスの売上、施設利用料、企業等からの協賛金など) を指します。

<凡例：選択肢>

① 10割またはそれ以上	④ 7割	⑦ 4割	⑩ 1割
② 9割	⑤ 6割	⑧ 3割	⑪ 0割
③ 8割	⑥ 5割	⑨ 2割	

5-2. 設問5で「あり (①)」と回答いただいた方のみ、お聞かせください。施設整備計画に記載された自立化の見込みは、当初の見込みどおりに進捗しているかについて、お選びください。

また、財源の確保ができる目途が立っている・立っていない理由についてもご記載ください。

令和2年度事業を踏まえた自立化の進捗	理由
③自主財源等を確保できる目途は立っていない	

<凡例：選択肢>

- ① 必要な自主財源等を確保できる目途が立っている ② 必要額の一部を確保できる目途が立っている ③ 自主財源等を確保できる目途は立っていない ④ 供用未開始

○ 自立化の課題 [全員]

6. 令和2年度事業を踏まえて、事業の自立化に向けて課題と感じていることを選択肢よりお選びください。(最大3つ)

選択いただいた課題の解決有無と、その解決方法 (現状未解決の場合は解決案) を、可能な範囲で具体的にご記載ください。

また、解決策を検討するにあたって参考とした情報についても、可能な範囲で具体的にご記載ください。(例：「地方創生事業実施のためのガイドライン」、「地方創生関係交付金の活用事例集」など)

※「別紙 | 選択肢」シートの凡例より選択ください。

	課題	解決の有無	解決策 (または解決案)
課題1	②事業推進体制の構築 (事業実施主体内での運営推進体制の構築、役割分担の決定)	②現状未解決	
課題2	⑤人材の確保 (事業実施主体での事業経営や技術ノウハウ等専門的知識を有する人材 (外部人材含む) の確保)	②現状未解決	
課題3	⑧人材の育成 (事業実施主体でのノウハウを引き継ぐ人材・次代を担う人材の育成)	②現状未解決	

D. 事業の実施状況

○事業実施時に留意した項目 【全員】

7. 貴団体が本事業を実施するにあたって留意した項目について実施有無をお聞かせください。(3段階評価、○は1つだけ選択)
 また、各項目の取組内容について、「事業実施や事業計画に反映したか(反映した場合は「○」)」についても、お聞かせください。
 注) 各項目の詳細は、内閣府から公表している「地方創生事業実施のためのガイドライン」総論-Ⅲ.事業化プロセス編に記載していますので、必要に応じてご参照ください。

【事業アイデア・事業手法の検討段階】

設問	3段階評価			事業実施や事業計画に反映したか(反映した場合は「○」)
	1 実施していない	2 概ね実施した	3 確実に実施した	
ア. 地域住民や利害関係者との話し合いを通じて課題やニーズを明確化している	○	●	○	<input type="radio"/>
イ. 定量的・客観的な分析を通じて地域の実態やニーズを捉えている	○	●	○	<input type="radio"/>
ウ. 地域の特色ある資源や強みを活用している	○	○	●	<input type="radio"/>
エ. 事業手法の検討に外部人材・知見を活用している	●	○	○	<input type="radio"/>
オ. 異なる分野の政策を組み合わせた事業とするため、団体内の複数部局や様々な分野の民間企業と連携している	●	○	○	<input type="radio"/>
カ. スケールメリットや人材・ノウハウ融通のため、複数の地域間で連携している	○	●	○	<input type="radio"/>
キ. 事業実施体制の構築において、地域の企業・団体等の既存組織・ネットワークを活用している	○	○	●	<input type="radio"/>
ク. 関係者の役割・責任について明確化している	○	●	○	<input type="radio"/>

「事業アイデア・事業手法の検討段階」において、上記の「事業実施や事業計画に反映した」に「○」と回答した事項について、具体的に事業実施や事業計画等に対しどのように反映したかご記載ください。

【事業の具体化段階】

設問	3段階評価			事業実施や事業計画に反映したか(反映した場合は「○」)
	1 実施していない	2 概ね実施した	3 確実に実施した	
ケ. 資金調達の方法や事業採算性など事業が継続性をもって自走していくことのできるプロセスを明確化している	●	○	○	<input type="radio"/>
コ. 経営視点からの検証のため、事業実施経験のある人材を活用している、または知見ある外部専門家から助言を受けている	●	○	○	<input type="radio"/>
サ. 事業終了までの詳細な工程計画(四半期単位、月単位等)を策定している	●	○	○	<input type="radio"/>
シ. 事業と直接性があり、客観的な成果を表すKPIを選定し、妥当な水準の目標値を設定している	○	●	○	<input type="radio"/>

「事業の具体化段階」において、上記の「事業実施や事業計画に反映した」に「○」と回答した事項について、具体的に事業実施や事業計画等に対しどのように反映したかご記載ください。

【事業の実施・継続段階】

設問	3段階評価			事業実施や事業計画に反映したか(反映した場合は「○」)
	1 実施していない	2 概ね実施した	3 確実に実施した	
ス. 事業実施主体間で定期的にコミュニケーションを行っている	○	○	●	<input type="radio"/>
セ. KPIの進捗について定期的に管理している	○	●	○	<input type="radio"/>
ソ. 庁外に担い手となるキーパーソンや、事業を継続的に進めていくマンパワーを確保している	●	○	○	<input type="radio"/>
タ. 事業の目的・目標や生じつつある効果等の現状、事業がもたらすメリットについて情報発信し、事業実施に対する納得感を醸成している	●	○	○	<input type="radio"/>
チ. 地域住民・事業者や利害関係者が事業の推進や改善に参加できる仕組みをつくっている	○	●	○	<input type="radio"/>

「事業の実施・継続段階」において、上記の「事業実施や事業計画に反映した」に「○」と回答した事項について、具体的に事業実施や事業計画等に対しどのように反映したかご記載ください。

【事業の評価・改善段階】

設問	3段階評価			事業実施や事業計画に反映したか(反映した場合は「○」)
	1 実施していない	2 概ね実施した	3 確実に実施した	
ツ. 外部組織や議会等により事業の効果を多角的に評価検証している	○	●	○	<input type="radio"/>
テ. KPIの達成状況を定期的に確認し、未達成の場合はその要因を分析している	○	●	○	<input type="radio"/>
ト. 事業の評価を踏まえて対応策を決定し、実行に移している	●	○	○	<input type="radio"/>
ナ. 事業の改善方針について次年度以降の事業計画に反映している	○	●	○	<input type="radio"/>

「事業の評価・改善段階」において、上記の「事業実施や事業計画に反映した」に「○」と回答した事項について、具体的に事業実施や事業計画等に対しどのように反映したかご記載ください。

○政策間連携 【全員】

8. 貴団体が行っている政策間連携について、連携している分野をお選びください。(最大3つ)
 また、政策間連携に関して、特に工夫した内容がある場合は併せてご記載ください。

連携している政策分野 (最大3つ)	特に工夫した内容
1 ①農林水産分野	
2 ⑧小さな拠点分野	
3	

<凡例：選択肢>

① 農林水産分野	③ ローカルイノベーション分野	⑤ 人材分野	⑦ ワークライフバランスの実現等	⑨ コンパクトシティ等
② 観光分野	④ 生涯活躍のまち分野	⑥ 若者雇用対策	⑧ 小さな拠点分野	⑩ なし

○政策立案の方法 【全員】

9. 貴団体が政策（本事業）を立案するにあたって留意した項目について、お聞かせください。（○はいくつでも）

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> ア. 解決課題を発見するため、統計情報（RESAS・V-RESAS、e-STATに掲載されている政府統計等）を活用した | <input type="checkbox"/> オ. 解決課題の選定にあたり、その課題が行政が解決すべき課題か確認を行った |
| <input type="checkbox"/> イ. 解決課題を発見するため、定期的に現場に赴いて、住民の意見を聞いた | <input type="checkbox"/> カ. 政策手段の検討にあたり、情報収集（集いへの参加、専門誌や情報誌の確認、類似事例の調査など）を行った |
| <input type="checkbox"/> ウ. 解決課題の検討にあたり、地域の実態やニーズの把握を目的とした現地訪問調査を実施した | <input type="checkbox"/> キ. 政策手段の検討にあたり、類似した取り組みを行っている自治体などへの現地視察を行った |
| <input type="checkbox"/> エ. 解決課題の検討にあたり、地域の実態やニーズの把握を目的としたアンケート調査を実施（または既存の結果の活用）した | <input type="checkbox"/> ク. 政策手段の選定にあたり、有効性・経済性・効率性の詳細な検討を行った |

9-1. 政策立案を行う上で、具体的に活用したデータ（及びデータベース）があれば、お聞かせください。（○はいくつでも）
また、活用したデータ（及びデータベース）について、それぞれどのように活用したか、ご記載ください。

データ（及びデータベース）の活用有無	詳細（ウ・エでどのようなデータを活用したか）	活用方法（どのようにデータを活用したか）
<input type="checkbox"/> ア. RESAS		
<input type="checkbox"/> イ. V-RESAS		
<input type="checkbox"/> ウ. e-STATに掲載されている政府統計等		
<input type="checkbox"/> エ. その他（地域独自の統計調査やアンケート調査等）		
<input type="checkbox"/> オ. 活用していない		

9-2. 政策立案を行う上で、収集に困っている、または必要だが入手できていないデータがあれば、ご記載ください。（例：○○のデータがあれば○○に活用できるため提供してほしい。）

9-3. 設問9-1で「オ.活用していない」と回答していただいた方のみ、お聞かせください。

政策立案を行う上で、データ（及びデータベース）を活用していない理由について、ご記載ください。

○官民連携の状況 【全員】

10. 民間との連携の内容について、下記区分（産・学・金・労・言・士・その他）ごとにお選びください。※その他の場合は、自由記載欄に詳細を記載の上、ご記載ください。

	産業界	大学	金融機関	労働団体	言論界	士業	その他※自由記載
連携内容	<input type="checkbox"/> ④その他	<input type="checkbox"/> ④その他	<input type="checkbox"/> ④その他	<input type="checkbox"/> ⑤連携なし	<input type="checkbox"/> ⑤連携なし	<input type="checkbox"/> ⑤連携なし	

<凡例：選択肢> 貴団体との連携内容 ※複数ある場合は上位を選択

<input type="checkbox"/> ① 事業主体として参画	<input type="checkbox"/> ② 協議会への参加	<input type="checkbox"/> ③ 個別相談・打合せの実施	<input type="checkbox"/> ④ その他	<input type="checkbox"/> ⑤ 連携なし
--------------------------------------	------------------------------------	--	--------------------------------	---------------------------------

○住民理解度 【全員】

11. 本事業の結果や外部有識者等会議の結果を地域住民に公表しているかどうかについて、お聞かせください。

結果の公表有無	<凡例：選択肢>
<input type="checkbox"/> ②公表していない	<input type="checkbox"/> ① 公表している <input type="checkbox"/> ② 公表していない

12. 本事業の結果や外部有識者等会議の結果を地域住民に周知しているかどうかについて、**事業開始前ならびに事業開始後**における各手法の実施有無をお聞かせください。（○はいくつでも）
また、実施している手法別に、事業開始前ならびに事業開始後における開催数・傍聴者数についても併せてお聞かせください。
（会議形式の場合は、本事業を議題として取り上げたもの、広報媒体形式の場合は、本事業の内容や結果を定期的に発信しているものについてお聞かせください。）

<周知手法（会議形式）> ※対面・オンラインを問わない

【事業開始前】

手法の実施有無	累積開催数（回）	累積傍聴者数（人）
<input type="checkbox"/> ア. ワークショップ		
<input type="checkbox"/> イ. 公聴会		
<input type="checkbox"/> ウ. 検討会		
<input type="checkbox"/> エ. 説明会		

【事業開始後】

手法の実施有無	累積開催数（回）	累積傍聴者数（人）
<input type="checkbox"/> ア. ワークショップ		
<input type="checkbox"/> イ. 公聴会		
<input type="checkbox"/> ウ. 検討会		
<input type="checkbox"/> エ. 説明会		

<周知手法（広報媒体形式）>

【事業開始前】

手法の実施有無	詳細（その他の場合のみ自由記載）
<input type="checkbox"/> カ. ホームページ	
<input type="checkbox"/> キ. 回覧板	
<input type="checkbox"/> ク. SNS	
<input type="checkbox"/> ケ. 自治体広報	
<input type="checkbox"/> コ. 独自アプリ	
<input type="checkbox"/> サ. その他	

【事業開始後】

手法の実施有無	詳細（その他の場合のみ自由記載）
<input type="checkbox"/> カ. ホームページ	
<input type="checkbox"/> キ. 回覧板	
<input type="checkbox"/> ク. SNS	
<input type="checkbox"/> ケ. 自治体広報	
<input type="checkbox"/> コ. 独自アプリ	
<input type="checkbox"/> サ. その他	

12-1. 設問12で公表手法のいずれかを「実施している（○）」と回答いただいた方のみ、お聞かせください。

事業に対する地域住民への周知の効果について、回答いただいた周知手法を通じた貴団体での成果の感覚をお聞かせください。

設問	5段階評価				
	1 周知の効果は なかった	2 周知の効果は あまりなかった	3 どちらとも いえない	4 周知の効果は 一定程度あった	5 周知の効果は あった
ア. 住民の事業に対する理解度の向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
イ. 住民との意見の相違の回避	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ウ. 住民の本事業に対する満足度の向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
エ. 事業に対する住民との合意形成	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
オ. 行政と住民との関係構築	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
カ. 住民の意見、ニーズ又は地域課題の把握	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

E. 効果検証

○議会または外部組織による効果検証 【全員】

13. 議会による効果検証の有無、及び外部組織による効果検証の有無と本事業の評価について、お聞かせください。

議会による効果検証の有無	議会による本事業の評価
②実施予定	
外部組織による効果検証の有無	外部組織による本事業の評価
①実施した	①本事業の内容がKPI達成に有効であった、との意見

<凡例：選択肢>

① 実施した	② 実施予定	③ 実施しない（予定）
--------	--------	-------------

<凡例：選択肢>

① 本事業の内容がKPI達成に有効であった、との意見
② 本事業の内容がKPI達成に有効とは言えない、との意見

13-1. 設問13で議会または外部組織による効果検証のいずれかを「①実施した」と回答いただいた方のみ、お聞かせください。

貴団体もしくは貴団体が効果検証を委託している団体が、効果検証を行うにあたって実施した項目について、お聞かせください。（〇はいくつでも）

- | | | |
|--|--|--|
| <input type="checkbox"/> ア. 事業の状況及び現状の課題を把握している | <input type="checkbox"/> オ. 適切な分析手法を検討し選択している | <input type="checkbox"/> ケ. 対応策や新計画の実施を行っている |
| <input type="checkbox"/> イ. 計画との比較を行っている | <input type="checkbox"/> カ. 統計データ等の証拠から、定量的・客観的に地域の課題を把握している | <input type="checkbox"/> コ. 定量的な分析結果を公表している |
| <input type="checkbox"/> ウ. 課題の優先順位付けを行っている | <input type="checkbox"/> キ. 阻害要因について対応策を検討している | |
| <input type="checkbox"/> エ. 事業における原因・阻害要因を明らかにしている | <input type="checkbox"/> ク. 新計画を立てている | |

○効果検証に関する工夫

14. 設問13で「①実施した」と回答いただいた方のみ、お聞かせください。

議会または外部組織による効果検証の実施に当たり、特に工夫した内容がある場合は以下にご記載ください。

対象事業だけではなく、全体的な事業の取組状況も踏まえて評価を実施している。

14-1. 設問13で「①実施した」と回答いただいた方のみ、お聞かせください。

議会または外部組織による効果検証を通じた、事業の実施状況の見直しについて、お聞かせください。

効果検証を通じた事業見直しの状況
②効果検証において「改善が必要」との指摘があり、適切な改善を図っている

<凡例：選択肢>

① 効果検証において「改善が必要」との指摘はなく、事業は適切に実施されている
② 効果検証において「改善が必要」との指摘があり、適切な改善を図っている
③ 効果検証において「改善が必要」との指摘があったが、現状では適切な改善が図られていない

14-2. 設問13で「①実施した」と回答いただいた方のみ、お聞かせください。

議会または外部組織による効果検証の実施に当たり、上記以外でどのようなデータを収集・活用したか、その分析手法を選択した上で可能な範囲で詳細にご記載ください。（例：KPI以外の指標の進捗、市民アンケートによる効果の把握など）

分析手法	具体的な内容
①定量分析（KPI除く）と定性分析を実施している	

<凡例：選択肢>

- | | | | |
|--|---|--|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> ① 定量分析（KPI除く）と定性分析を実施している | <input type="checkbox"/> ② 定量分析（KPI除く）を実施している | <input type="checkbox"/> ③ 定性分析を実施している | <input type="checkbox"/> ④ 実施していない |
|--|---|--|------------------------------------|

○効果検証におけるデータ（及びデータベース）の活用 【全員】

15. 効果検証を行う上で、具体的に活用したデータ（及びデータベース）があれば、お聞かせください。（〇はいくつでも）

また、活用したデータ（及びデータベース）について、それぞれどのように活用したか、ご記載ください。

データ（及びデータベース）の活用有無	詳細（ウ・エでどのようなデータを活用したか）	活用方法（どのようにデータを活用したか）
<input type="checkbox"/> ア. RESAS		
<input type="checkbox"/> イ. V-RESAS		
<input type="checkbox"/> ウ. e-STATに掲載されている政府統計等		
<input type="checkbox"/> エ. その他（地域独自の統計調査やアンケート調査等）		
<input type="checkbox"/> オ. 活用していない		

15-1. 効果検証を行う上で、収集に困っている、または必要だが入手できていないデータがあれば、ご記載ください。（例：〇〇のデータがあれば〇〇に活用できるため提供してほしい。）

15-2. 設問15で「オ.活用していない」と回答していただいた方のみ、お聞かせください。

効果検証を行う上で、データ（及びデータベース）を活用していない理由について、ご記載ください。

16. 令和2年度の事業を進める中で特に苦労したことや課題だと感じたことを上位から順に最大で3つまで、お選びください。

特に苦労したこと（3つまで） （特になければ空欄）
③ビジネスモデル・資金繰りの検討
②事業経営や技術ノウハウを有する人材の確保・育成
⑥庁内・組織内（幹部、原課、財政課等）との調整・合意形成

<凡例：選択肢>

① 事業推進体制の検討
② 事業経営や技術ノウハウを有する人材の確保・育成
③ ビジネスモデル・資金繰りの検討
④ 事業実施場所（施設・設備）の検討
⑤ 規制・許認可への対応
⑥ 庁内・組織内（幹部、原課、財政課等）との調整・合意形成

⑦ 庁外・組織外（地域内・地域外の事業者、住民）との調整・合意形成
⑧ 現場実態を踏まえた設計・工程等の見直し
⑨ 共同申請者との調整・合意形成
⑩ データの収集
⑪ その他（例：予期せぬ外部環境変化が起こった等）

※⑨については、共同申請事業の場合のみ、選択ください。

「⑪その他」を選択した場合は、その内容を具体的にご記載ください。

16-1. 設問16を回答いただいた方のみ、お聞かせください。

設問16の課題・苦労で1番目に回答した内容に対応して、取組を進めながら修正・改善が行われた場合、もしくは解決できた場合、その内容について、可能な範囲で具体的にご記載ください。また、改善対策案を検討するにあたって参考とした情報についても、可能な範囲で具体的にご記載ください。（例：「地方創生事業実施のためのガイドライン」、「地方創生関係交付金の活用事例集」など）
注）施設整備計画の申請時点での想定との相違点に対し、事業の実施中（令和2年度内）において、修正・改善により取組を前進させた点をお聞かせください。

16-2. 設問16を回答いただいた方のみ、お聞かせください。

設問16の課題・苦労として回答した内容について、現状まだ修正・改善が行われていない場合、今後の改善対策案の内容について、可能な範囲で具体的にご記載ください。また、改善対策案を検討するにあたって参考とした情報についても、可能な範囲で具体的にご記載ください。（例：「地方創生事業実施のためのガイドライン」、「地方創生関係交付金の活用事例集」など）
注）施設整備計画の申請時点での想定との相違点に対し、今後対応する予定の修正・改善案をお聞かせください。

II. その他

○事例の成功要因 【全員】

17. 本事業の成功要因について、実施した工夫（及びその特徴）とともにお聞かせください。（上から重要な順に最大3つ）

事例の成功要因	⑩魅力的な地域資源の活用
実施した工夫及びその特徴	事業実施地区は、県内でも少数となっている伝統工芸「竹工芸」を継承している方が残っている地区であるため、その魅力を有効活用する取組が期待されている。
事例の成功要因	
実施した工夫及びその特徴	
事例の成功要因	
実施した工夫及びその特徴	

<凡例：選択肢>

①	推進力のある事業主体の形成
②	部署横断的なコミュニケーションの密な実施による意識の醸成
③	複数担当者による事業の推進
④	民間活力を軸とした官民（民官）協働の推進
⑤	着実に実効性のある効果検証による強靱な事業運営
⑥	地域間連携の充実
⑦	政策間連携の充実
⑧	事前の調査、分析による課題の明確化と事業の目指すべき方向付け
⑨	課題の優先順位付けを行い、適切な順序で方策を検討
⑩	適切なKPIの設定
⑪	魅力的な地域資源の活用
⑫	高い自立性の確保
⑬	専門的知見を持った外部人材の活用/ 外部人材が活躍しやすい環境整備
⑭	地域人材の育成による事業の自立性、継続性の担保
⑮	地域住民の理解と参画、地域ぐるみの機運の醸成
⑯	データの活用（RESAS-V-RESAS、e-STATに掲載されている政府統計等）
⑰	その他

17-1. 「地方創生関係交付金の活用事例集」の掲載事例として、本事業を取り上げるべきかについて、お聞かせください。

事例の自己推薦	
---------	--

<凡例：選択肢>

①	計画を上回る大きな効果を上げた事業として推薦する
②	課題解決のための取組内容が他団体の参考となるため推薦する
③	課題や苦勞が他団体への示唆に富むため推薦する
④	その他の理由により推薦する

○新型コロナウイルス感染症の影響 【全員】

18. 新型コロナウイルス感染症による事業への影響度と事業の進捗状況について、事業への影響度や今後の方針を選択した上で可能な範囲で詳細にご記載ください。

事業への影響度	具体的な内容
①多大な影響を受けている	イベント及び様々な交流会等の開催数が減少しているため、イベント収入並びに施設利用料金の減少となっている。

<凡例：選択肢> ① 多大な影響を受けている ② 一定程度の影響を受けている ③ 影響を受けていない

コロナを踏まえた本事業の今後の方針	具体的な内容
①事業を継続（コロナ禍においても計画通りに事業を継続する（または、概ね同内容で継続す）	今後も概ねコロナ禍前と用内容で継続を考えている。

<凡例：選択肢> ① 事業を継続（コロナ禍においても計画通りに事業を継続する（または、概ね同内容で継続する）） ② 事業を発展（コロナ禍という環境に適応し、取組を更に発展させる） ③ 事業の改善（コロナ禍に伴い事業の効果が見込みを下回ったことから見直し（改善）を行う（または、行った）） ④ 事業の縮小（コロナの影響に伴い事業を縮小する） ⑤ 事業の中止（継続的な事業実施を予定していたがコロナの影響に踏まえ中止する（または、した）） ⑥ 事業の終了（当初予定通り事業を終了する（または、した））

18-1. 新型コロナウイルス感染症の蔓延以降に実施した、本事業における対応内容について、お聞かせください。（○はいくつでも）

<input type="checkbox"/> ア. 現状及び今後（先行き）の再認識（財務状況の確認やKPIの進捗確認など）	<input type="checkbox"/> キ. 従業員とのコミュニケーション、ワークスタイルの変化への対応
<input type="checkbox"/> イ. アフターコロナの環境を踏まえた計画・目標の見直し	<input type="checkbox"/> ク. 事業関係者の役割の再定義
<input type="checkbox"/> ウ. アフターコロナでの新たなリスクの特定・認識、BCP（事業継続計画）体制の整備	<input type="checkbox"/> ケ. 新たな市場と既存市場の再評価（ニーズ・需要の再確認など）
<input type="checkbox"/> エ. 本事業で提供している製品・サービスにおける、サプライチェーンの検証と再構築	<input type="checkbox"/> コ. ビジネスターゲット・付加価値向上策の再検討
<input type="checkbox"/> オ. デジタル技術の導入	<input type="checkbox"/> サ. SDGsやパリ協定を踏まえたコロナからの復興施策の実施（グリーンリカバリー）
<input type="checkbox"/> カ. 住民やユーザーの安全・健康への配慮	<input type="checkbox"/> シ. その他 その他の詳細 <input type="text"/>

18-2. 新型コロナウイルス感染症からの、事業の回復状況について、選択した上で可能な範囲で詳細にご記載ください。

コロナの影響からの回復有無	具体的な内容
②回復できていない	蜜を避けるため、大勢によるイベント及び交流会（研修会）等の開催数の減少が顕著であり、容易に回復できない状況下にある。

<凡例：選択肢> ① 回復済み ② 回復できていない

18-3. 本事業が新型コロナウイルス感染症への対策や支援として寄与する事例だと考えられる場合、その有無を選択した上で可能な範囲で詳細にご記載ください。

新型コロナウイルス感染症対策への寄与	具体的な内容
③わからない	

<凡例：選択肢> ① 寄与している ② 寄与していない ③ わからない

○フィードバックレポートに関する意見・要望 【全員】

19. 地方創生拠点整備交付金事業実施結果について、全国の地方公共団体により報告された「地方創生拠点整備交付金事業実施報告（様式2）」の集計・分析を実施しフィードバックレポートとしてお知らせしております。フィードバックレポートについてのご意見・ご要望がありましたら、ご記載ください。

○ガイドライン、事例集に関する意見・要望 【全員】

20. 内閣府から公表している「地方創生事業実施のためのガイドライン」や「地方創生関係交付金の活用事例集」についてのご意見・ご要望がありましたら、ご記載ください。

○定量的なデータの活用（データベース、データの取得や有効利活用）に際しての更なる改善 【全員】

21. 設定したKPI以外で、本事業の効果を定量的に把握している場合、その内容をご記載ください。あわせて、定量的な把握において、RESASなどに追加してほしいと考えているデータがありましたらご記載ください。

以上で全て終了です。